

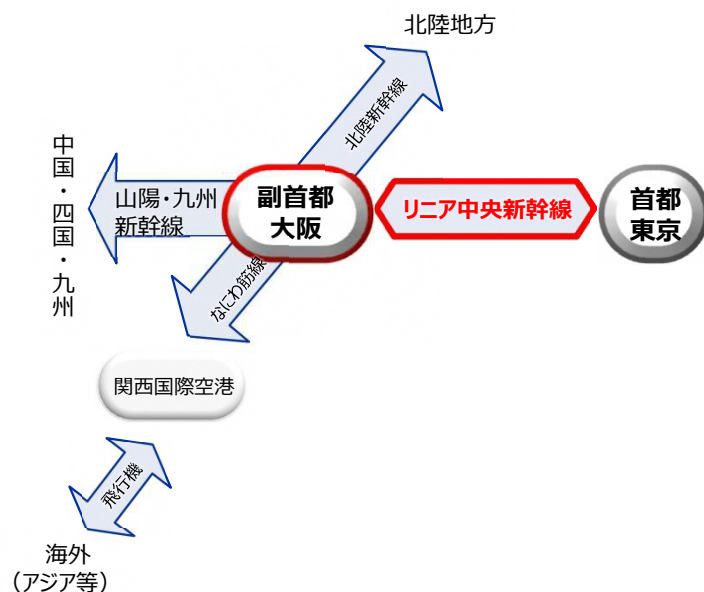
# リニア中央新幹線の全線開業が必要な理由

- 副首都を目指す大阪には、平時に東京と超高速で結ぶインフラが必要であり、その実現により、日本経済をけん引する成長エンジンとなる
- 災害に強い都市間輸送代替ルートとして国土強靱化にも寄与

## 副首都・大阪

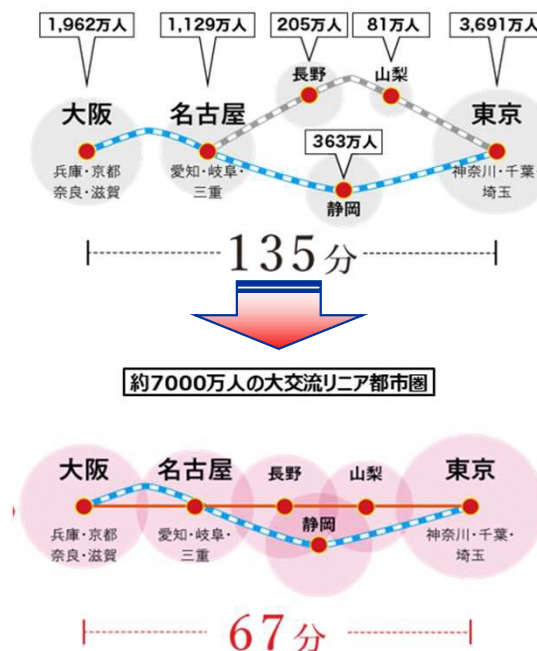
東京のみに頼らず、各圏域の中心となる都市が成長エンジンとなり日本経済をけん引する必要がある

また、首都圏の非常時に日本経済を停滞させないなどバックアップ機能を担う「副首都」の実現にも必要不可欠



## 経済効果

東京～大阪間の移動時間が約1時間に短縮することで、ビジネス効果や観光需要等の向上により、全国で約1.6兆円/年の経済波及効果を創出



## 国土強靱化

東京～大阪間を結ぶことで、東西二極が補完的に併存し、平時の接続性向上や災害時のリダンダンシー確保による強靱な国土構造を形成



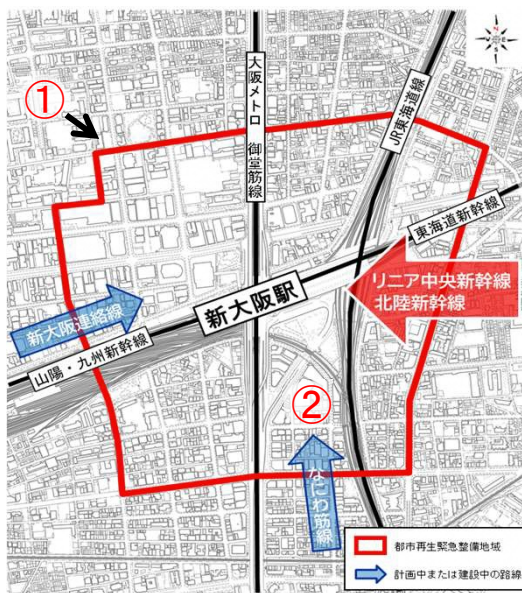
□新大阪駅は、リニア中央新幹線とつながることで、西日本の玄関口（広域交通ネットワークの一大ハブ拠点）としての役割がさらに高まる

## ①新大阪駅周辺のまちづくり

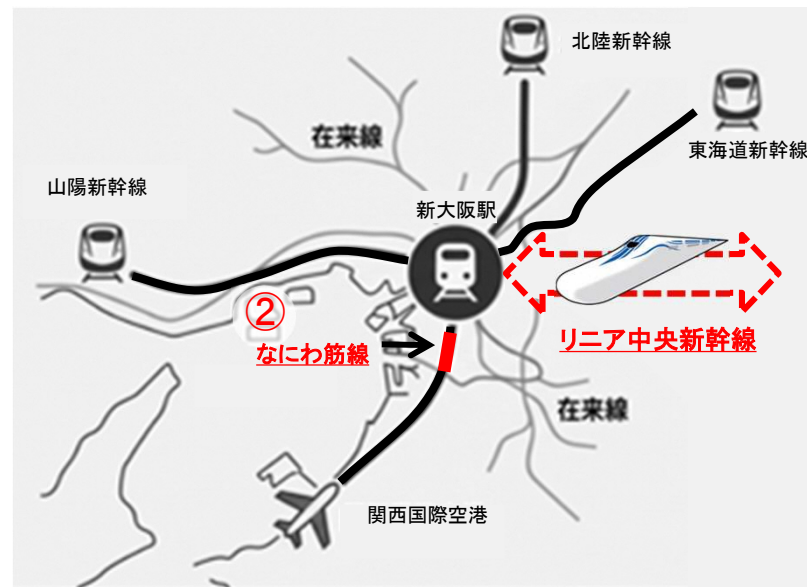
リニア全線開業後を見据え、駅と都市空間が一体的に機能するハブ拠点として、新たなまちづくりを推進

## ②鉄道ネットワークの強化

関空から新大阪までのアクセス向上を図る なにわ筋線 の整備など鉄道ネットワークの強化を推進（関空～新大阪間：南海 60分/乗換1回 ⇒ 50分/乗換0回）



新大阪駅エリアのまちづくり



広域交通ネットワーク



# 早期着工・早期全線開業に向けた大阪府の取組み

- 大阪で開催された鉄道イベントにおいて、リニア中央新幹線のPRブースを出展し、来場者に対して実施したアンケートの結果、**9割以上が大阪までの早期開業を熱望**
- リニアに関する情報を、デジタルサイネージ等を活用して積極的に多方面へ発信

## ③鉄道イベントへのブース出展による機運醸成

〈令和7年度の取組紹介〉 令和7年11月29日-30日:鉄道まつり2025@万博記念公園(来場者 約10万人)

令和8年 1月10日-12日:鉄道博2026@大阪南港ATC(来場者 11,317人)

表 アンケート「大阪まで早く新幹線が開通してほしいかどうか」

■鉄道まつり アンケート結果

実施年次	回答総数	「強く思う」と「少し思う」の合計
令和7年度	3,230人	3,026人 <b>約94%</b>
令和6年度	2,983人	2,789人 <b>約94%</b>
令和5年度	3,355人	3,152人 <b>約94%</b>

■鉄道博 アンケート結果

実施年次	回答総数	「強く思う」と「少し思う」の合計
令和7年度	1,932人	1,805人 <b>約94%</b>
令和6年度	3,214人	2,894人 <b>約90%</b>
令和5年度	3,861人	3,490人 <b>約91%</b>



鉄道まつり2025



鉄道博2026

⇒ アンケート回答者の **9割以上が大阪まで早く開業してほしいと回答**

## ④デジタルサイネージによる広報啓発



阪急大阪梅田(エントランスビジョン)



大阪モノレール(大阪空港駅ほか 全18駅)

